

## ごあいさつ



栗東市農業協同組合  
代表理事組合長

佐野 宗 二

組合員の皆様には日頃よりＪＡ栗東市の事業全般の運営について格段のご理解、ご支援を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

ここに、ＪＡ栗東市の活動状況や業務内容及び平成 25 年度決算の状況について皆様にご案内するため「ＪＡ栗東市の現況 2014」を作成いたしました。

皆様がＪＡ栗東市の事業をさらにご利用いただくための一助として、是非ご一読いただきますようお願い申し上げます。

さて、我が国の経済は、金融緩和・財政出動・成長戦略の「三本の矢」による「アベノミクス」により円安・株高となり、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や、中国をはじめとする新興・資源国における経済成長の鈍化など不透明感が残っております。今後政府による持続的な経済成長につなげるための政策が実行され、底堅い内需に支えられた景気回復が期待されます。

農業面においては、政府が 1970 年から 40 年以上続けてきた生産調整（減反）を 5 年後の 2018 年を目途に廃止する方針を決定し、減反にかかる補助金を飼料用米の転作に応じた場合等を除いて段階的に引き下げるとしており、今後、農政・農業に大きな影響が出るのが懸念されます。また、ＴＰＰ交渉への参加表明以降、関係各国との交渉が続いておりますが大きな進展は見られないまま緊迫した状況が続いております。引き続き日本の農畜産業における重要品目除外の堅守等について、組織をあげて政府へ働きかける運動を展開して参ります。

このような情勢の中、当ＪＡ栗東市では平成 25 年 3 月 25 日に「ＪＡ栗東市総合センター桃李館及び小野支店」をオープンして早や 1 年が経過し、多くの方々にご来館いただきました。今後は当施設を中心に、一括集中化型の運営により堅固な組織づくりを行い、更には農業づくりを強化し、「田舎の元気や」全館をさらに充実させて、地域の皆様方に満足していただけるように取組みます。

また、平成 25 年度の決算結果については、厳しい社会情勢の中ではありましたが、当期末処分剰余金は 3 億 880 万円となり、組合員の出資配当金では 49 期連続で 3 % の配当をすることができました。これも一重に組合員の皆様のご支援の賜物と厚く感謝いたしております。

平成 26 年度は向こう 3 年間の中期経営計画と地域農業振興計画の 2 年目にあたります。10 年後の「めざす姿」をしっかりと見据えて、また、その実現に向けて、農家組合員の世代交代、高齢化と人口の減少、農業生産の縮小傾向、農業の大規模化と少数化等といった現状を十分に認識し、「次代へつなぐ協同」による“農業づくり、地域づくり、組織づくり”に取り組んで参ります。

最後になりますが、皆様におかれましては今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 26 年 7 月

